

兵庫県但東町

日本・モンゴル民族博物館年報

第 6 号 (平成14年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.6 (for the fiscal years of 2002)

あ い さ つ

平成14年度の博物館活動を綴った「博物館年報6」をお届けします。ささやかな報告ではありますが、ご高覧いただきご批判・ご叱責を賜れば幸いです。当館はモンゴルや郷土の歴史・民俗等に関する資料を保存・展示、または普及教育や国際理解学習の地域拠点としての博物館運営に努めてまいりました。平成8年11月3日に開館し、これまでの累計で20万4千人の入館者を迎えることができました。年間入館者数は前年同様約3万1千人で推移しており、町民の利用率は全体の13%になっています。

当館の事業を大きく分けると、博物館運営・文化財保護・国際交流の三つに大別されます。博物館運営として、常設展や企画展などの展示活動、調査研究活動、資料収集保存活動、普及教育活動があります。

平成14年度は新しい21世紀の幕開けとなり、町教育委員会も機構改革に伴い、学校教育課と生涯学習課が統合されて教育課となり、博物館は独立してスタートしました。平成14年度から公立の小・中・高等学校においては学校週5日制が完全実施され、また、学習指導要領の改正に伴い「総合的な学習の時間」が設けられ、児童・生徒が博物館を活用し、自ら学ぶ機会はこれまで以上に増えてくるものと考えております。現在、教育界においては『生きる力』ということばに代表されるように、「自分で課題を見つけ、その課題を自分で解決するための方法を身につける」教育が重要であるとされております。

次に、平成14年度の主な成果を取り上げてみますと、展示活動として、企画展を3回実施しました。第16回「DOKI DOKI 縄文ワールド」、第17回「但東の文化財～民・神・まつり」、第18回「但馬の高等学校美術・書道部顧問による美術展」を開催しました。

普及教育事業では出前授業を20校の小学校で実施し、1059人の子どもたちにモンゴルや国際理解をする学習に貢献できました。博物館実習生の受入、中学2年生を対象にした「トライやるウィーク」の受入も前年に引き続き実施しました。平成11年度から始めた出前授業は好評を得て県内外の小学校から依頼が年々増加しており、国際理解学習に対する支援活動ができつつあると考えております。

文化財保護については、平成13年度から継続して木造仏の悉皆調査を実施し、これまで具体的資料に乏しかった当地方の信仰を知るうえで貴重な資料収集ができました。文化財の活用事例として、農村歌舞伎舞台3棟で地元女性劇団「ささゆり」による上演が行われ、文化財保護にも一役買うことになりました。次年度以降も是非とも継続していきたいと考えています。

国際交流関係では、モンゴル国から13名の友好使節団を受入、子どもたちを中心にした草の根的な展開をすることができました。夏には著名なモンゴル人画家D. ウルタナサン氏と助手のG. バルスボルド氏の2名が3ヶ月間滞在し、モンゴル伝統絵画のワークショップを実施しました。滞在中に制作した長さ6メートルを越す大作「上天より命ありて生まれたる蒼き狼」他多数の絵画を寄贈いただきました。この大作は構想から時代検証や下書きを含めて約2年間の時間を費やし、当館ではその最後の仕上げをワークショップという形でご覧頂きました。ナクタンという伝統絵画の手法でモンゴル民族の英雄チングス・ハーンの生涯を描いたものです。3月には外務省の青年招聘事業で、モンゴル国から5人の博物館関係者と意見交換する機会に恵まれました。

平成14年6月、兵庫県博物館協会理事会および総会にて当館が理事館として推薦を受け、微力ながらお役に立つよう努力いたしたいと思っております。今後も、子供から高齢者まで幅広い方々に親しまれるよう、魅力ある展示や企画・体験教室を開催してまいりますので、今後とも当館の事業にご理解いただき、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年7月1日

日本・モンゴル民族博物館

館長 金津 匡伸

目 次

I. 平成 14 年度概要	4
II. 展覧事業	4
1. 常 設 展	
2. 企 画 展	
III. 調査研究事業	7
1. 河ノ辺の大桜	
2. 但東町の仏像調査	
3. 文化財調査委員会の開催	
IV. 資料収集保存事業	8
1. 寄 贈	
2. 購 入 資 料	
3. 資 料 の 貸 出	
4. 資 料 の 燻 蒸	
5. 文化財標柱設置	
V. 普及教育事業	11
1. 出 前 授 業	
2. 普 及 事 業	
3. 「トライやるウィーク」の受入	
4. 講 師 派 遣	
5. 出 版 活 動	
6. ホームページの開設	
7. 子ども放送局の設置	
8. 博物館学芸員実習生の受入	

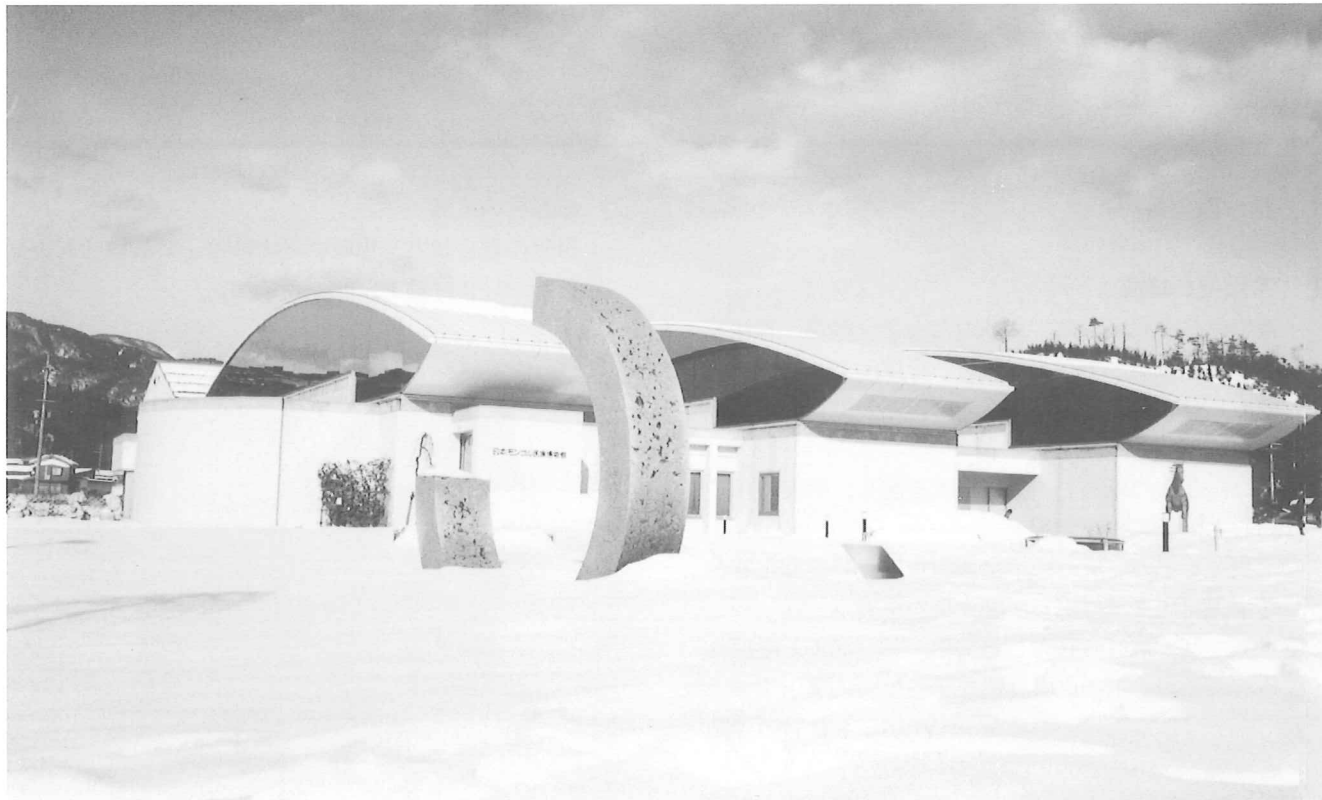
VI. 国際交流事業..... 16

1. モンゴル国若手芸術家支援活動
2. モンゴル友好使節団の来日
3. モンゴル国立民族音楽団の来館
4. 外務省モンゴル青年招聘 美術館・博物館学芸員の来館

VII. 管理運営..... 18

1. 組織・職員
2. 予算の概要
3. 入館者利用状況
4. 施設管理
5. 博物館協力会
6. 博物館日誌抄
7. 来館者の声
8. 施設概要
9. 利用案内
10. 交通案内

あとがき..... 32



(冬の博物館全景)

I. 平成14年度概要

当館の事業を大きく分けると、博物館運営・文化財保護・国際交流の三つに大別される。

博物館運営として、常設展や企画展などの展示活動、調査研究活動、資料収集保存活動、普及教育活動がある。常設展はこれまでに部分的に変更しており、開館時と比較すると大きく変化している。

入館者数は、平成15年2月に西宮市在住の萩野慶子さんが20万人目の入館者となり、平成12年度以降徐々に増加傾向にある。平成14年度は年間310日開館し、一日当たり100人の入館者があった。

また、平成14年度は博物館周辺において、但東いろどりフェスタ2002が開催され馬頭琴演奏や民族衣装の試着、モンゴル料理などのイベントに協賛し楽しんでいただいた。

企画展は3回開催し、第16回企画展では「DOKI DOKI 縄文ワールド」、土器の展示を中心に縄文時代の豊かな生活ぶりを活動を通して紹介した。第17回企画展は「但東の文化財～民・神・まつり」、人生儀礼や農耕、年中行事などを紹介した。第18回企画展は「但馬の高等学

校美術・書道部顧問による美術展」を開催した。

普及教育活動では、文化財への意識の高揚を促すため、今年度初めての試みとして農村歌舞伎舞台を使った劇団「ささゆり」の公演活動を実施した。

出前授業は但馬地方を中心に、阪神間や播磨地方でも実施した。博物館教室は、夏休み期間中を主に年間22回実施し、延べ183人の参加をみた。

博物館学芸員実習では、昨年度に引き続き大学の夏休みを利用した時期に実施した。

文化財調査では、大河内地区の山林に大きな桜が自生しており、文化財指定の方向で専門家に調査を依頼し開花を確認し樹種を特定したうえで天然記念物として町指定することとした。

国際交流関係では、8月27日から11月15日までモンゴルの著名な画家D. ウルタナサン氏と助手のG. バルスボルド氏の創作活動の支援と、10月19日から25日までモンゴル国友好使節団の訪問を受け、さらに3月12日～13日には、外務省のモンゴル青年招聘事業による研修生を受け入れた。

II. 展覧事業

1. 常設展

(1) 常設展の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟の東アジアの歴史・チベット仏教、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の但東の暮らしから構成している。

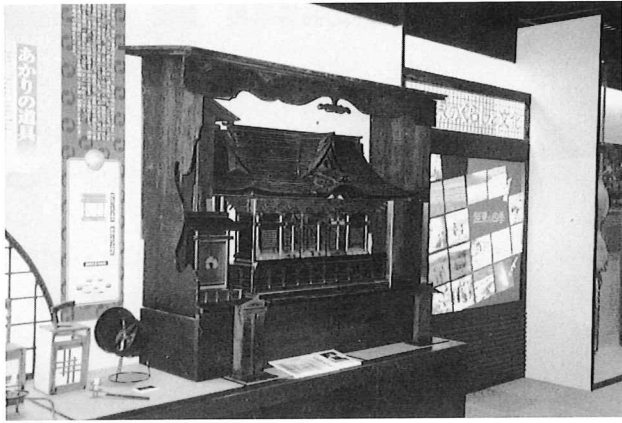
- ◎ たんとうの森……人工樹木を配し、平安時代の朽ち木仏像5体を展示
- ◎ 東アジアの歴史……白亜紀後期の恐竜卵化石から中国元代までの化石・歴史資料を展示
- ◎ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルと呼ばれる天幕住居を中心に衣食住をテーマ別に展示
- ◎ モンゴル草原のいのり……チベット仏教の寺院を再現
- ◎ 伝承文化体験交流館……昭和30年代の民家の一部を再現、暮らしの道具や歴史資料などを展示

(2) 常設展の追加

但東の暮らしと文化のコーナーには、大石敏彦氏より寄託を受けた神棚を常設展示に加えた。



(寄託を受けた神棚)



(展示風景)

(3) 屋外展示

体験農園の北側に、トライやるウィークで受け入れた中学生により建築準備を進め12月に竪穴式縄文住居の完成をみた。今後は、展示とともに体験施設として活用を図る。



(竪穴式住居)

(4) 職員による解説

当館の職員は現在5名で、来館者の要望に応じて随時解説補助をしている。解説は、数名から10数名程度の団体については各展示室を通して行っているが、20数名以上の団体については通路が狭いこともあり一般的なガイダンスや、各コーナーでの個別的な質問への対応が主体となっている。

2. 企画展

平成14年度は、次の3回(第16回~18回)企画展を行った。

(1) 第16回企画展『DOK I DOK I 縄文ワールド』

平成14年4月18日~12月10日

207日間(見学者数:23,357人)

“テレビゲームやパソコンがなくなったら縄文の生活は豊かだった!”

日本列島に、いつごろから人類が住み始めたのか?そしてどんな暮らしをし、どんな道具を使っていたのか?

豊かな自然の産物で生活していた縄文人は、自然をよく知る人々であるとともに鋭い自然の観察者でもあった。生きるために道具を作り、恵まれた自然の中の動物や木の実には単に食料資源だけではなく、親しい自然の仲間であった。土器や土偶にはそんな仲間を取り込んだ、遊び心がかいま見られるものもあり、縄文人の豊かな暮らしぶりが伺える展示となった。

【展示構成】

- ① 東北地方の縄文土器(早期~晩期)
- ② 土器レプリカ
- ③ 祈り 土偶レプリカ・甕棺土器
- ④ 縄文人の食べ物
- ⑤ 復元した縄文楽器



(展示風景)



(展示風景)

(2) 第17回企画展『但東の文化財～民・神・まつり』

平成14年12月12日～平成15年3月4日

65日間（見学者：3,214人）

「まつり」には、いろいろな祭りがある。

日本では、神々は普段山などにおり、祭りに応じて訪れてくるという信仰があった。人々は暮らしの中に神を取り入れ、これを崇拝することにより心のよりどころとしてきた。太陽・月・気象・山・川・海・動物などあらゆるものを神とし、その分身を家屋内にも祀るようになった。

今回の企画展では、但東町に古くから受け継がれてきた「まつり」の数々を紹介し、民俗文化財の保存と伝承を促した。

また、但東町三原の統合中学校建設用地から出土した木簡や斎串、松明など祭祀に使われたものなど、子どもたちが但東の文化財を知る機会となった。

【展示構成】

- ① 祭り 神棚・人生儀礼
- ② 祭り 但東町の祭りと奉納行事
- ③ 祭り 年中行事と神々・農村歌舞伎舞台
- ④ 祭り 三原石田遺跡出土品



(展示風景)



(展示風景)

(3) 第18回企画展『但馬の高等学校 美術・書道部顧問による美術展』

平成15年3月6日～4月2日

25日間（見学者：1,956人）

但馬管内の高等学校で、美術と書道部の顧問を担当している教員の美術展を開催した。

県立では、豊岡・出石・豊岡南・豊岡実総合・香住・浜坂・温泉・村岡・八鹿・和田山・日高・生野高等学校、私立では近大附属豊岡高等学校など、美術や書道教育に携わる教員が一堂に会しての展示会となった。

展示は、ひとつの流派に偏ることなく、表現への方向性が多様であり、作品に関しての完成度も高く、美術・書道と領域が多種多様であり鑑賞する側には飽きない展示となった。

【展示構成】

- ① 書道 茶掛け・額・布地横巻
- ② 美術 油絵・水彩画・陶芸
- ③ 美術 油絵・陶芸・グラス彫刻
- ④ 書道 横巻・額・茶掛け



(展示風景)



(展示風景)

Ⅲ. 調査研究事業

1. 河ノ辺の大桜

(1) 調査に至る経緯

平成14年春、大河内伊吹山にある薬王寺生産森林組合の山林確認のため組合員が入山、その際一部の人から立派な桜があると指摘され、何か活用できないかと話題になった。

本桜の存在は大河内や薬王寺の一部の関係者は知っていたが、現地を確認している人は数人程度だったという。

平成14年7月10日、薬王寺副区長井上宗夫氏より調査依頼があり、文化財調査委員会会長宇治田透玄氏、薬王寺副区長井上宗夫氏、金津匡伸、大岸勝也により現地を立合い確認した。

(2) 調査要綱

- ① 調査方法 専門家に依頼
- ② 調査期間 平成14年7月31日～開花確認時
- ③ 調査地 但東町大河内伊吹山1の14番地
- ④ 調査主体 但東町教育委員会
(教育長 川見正明)
- ⑤ 調査員 姫路農林事務所
主幹 鶴田 誠
朝来町在住
樹木医 宮田和男
- ⑥ 調査事務局 日本・モンゴル民族博物館
(館長 金津匡伸・主査 大岸勝也)
- ⑦ 調査協力 但東町大河内区・薬王寺区

(3) 調査概要

7月31日、薬王寺区長井上敦美氏、薬王寺副区長井上宗夫氏、金津匡伸、大岸勝也、浅田英稔、藤田大輔により地籍図で現地の小字を確認する。

8月3日、全国の桜に詳しい姫路農林事務所主幹鶴田誠氏、朝来町在住の樹木医宮田和男氏に専門的な調査を依頼した。

現地調査した二人の所感として、樹種は全体的にエドヒガンを思わせるが葉の様子から見るとヤマザクラであり、推定樹齢は200年～250年である。今後の対策として、急斜面にあるため半径10m程度に繁茂する高木を伐採し土留めが必要である。また、木の根元にベッコウダケが生えており薬剤処理をし、高木を伐採した範囲内を立ち入り禁止とするよう指導を受けた。

根元径 5.08メートル

目通り 4.84メートル (GLから1.2メートル)



(河ノ辺の大桜・写真右)

(4) まとめ

報告を受けた教育委員会では、調査依頼を受けた薬王寺地区の要望により今日に至る経緯を報告した。これを受け、薬王寺地区では但東町文化財指定への希望が強く、文化財調査委員会では県内有数のヤマザクラとして、文化財指定の方向で意見の一致をみた。

2. 但東町の仏像調査

近年無住になっている神社仏閣等から仏像等の盗難が相次いでおり、緊急調査として本町に残されている仏像の悉皆調査を目的に計画したものである。指定文化財としては県指定の仏像が2件、町指定が12件ある。本調査は基本的に記録調査を主目的としており、虫菌被害の有無、正面・背面・両側面・意匠細部の写真撮影等、現状観察から得られる情報収集に努めた。平成13年度と14年度の継続調査として実施、台帳として管理する。



(時代や修理状況を調べる)

3. 文化財調査委員会の開催

本年度は文化財調査委員の任期満了により、下記の5名が再任された。

第1回文化財調査委員会では、役員を選任に続いて博物館運営状況等の報告と、平成14年度における文化財調査並びに活動計画が協議された。特に、県下でも屈指の農村歌舞伎舞台を持つ但東町において、この活用に劇団「ささゆり」の公演を町内3会場で予定するなど、新たな取り組みも協議された。

この他、14年春確認された大河内の山中にある大桜の保存と管理、文化財指定など取り扱いについて協議された。

第2回文化財調査委員会では、伊吹山（大河内）の大桜を現地に於て観察し、博物館館長より現在までの経緯報告と桜の特徴などを説明し、引き続き協議をいただいた。協議の結果、全国のサクラ巨木・名木一覧に照らしても遜色ない。文化財に指定すべきものとして全員一致で議決された。

また、久畑古墳を小山精吾氏の案内で現状を視察し、後日遺跡台帳で確認した。

第3回文化財調査委員会では、県砂防堰堤工事について県土木但東事業所より説明を受け、予定地である亀ヶ城や周辺遺跡について現地調査を実施した。この他、平成15年度文化財関係予算について協議された。

研修については、淡路地区の西淡町文化財保護委員会に但東町の文化財を紹介し、文化財調査委員会の役割と活動について情報交換を行った。

[文化財調査委員会委員（5名）]

会 長：宇治田透玄

会長代理：武知 憲 男

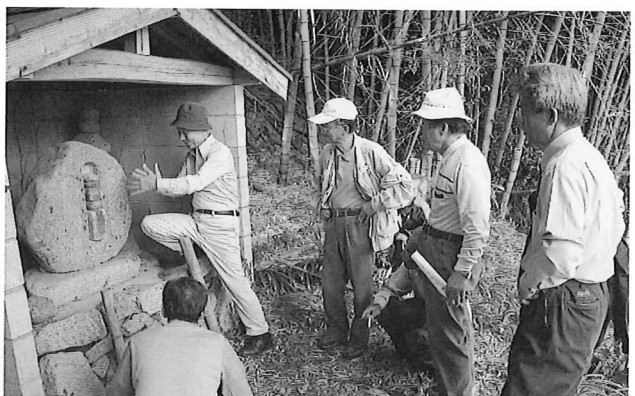
委 員：森脇 博 亮 兼 井 通 夫 小 田 博 一



(文化財調査委員会の情報交換会)



(現地の視察 日出神社)



(文化財パトロール 虫生 山本家墓碑)

IV. 資料収集保存事業

当館が所蔵している資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料を収蔵している。

資料の収集と保存は、博物館の最も基本的な機能である。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じた比較資料も収集対象としている。資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。

1. 寄 贈

(1) 寄贈資料(敬称略)

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	点数
平成14年5月14日	ア イ ド ル Z O O	豊岡市	プレーリードッグ(メス)	1
5月14日	松 岡 久 代	但東町	唐 箕	1
5月20日	岡 田 徳 太 郎	但東町	陶器笠付ソケット 膳(低却) 苗代用田耕車 木製手押しポンプ	1 3 1 1
6月13日	匿 名	但東町	モンゴルの切手	40
7月30日	太 田 和 子	但東町	レコード(SP版) レコードケース 衣 桁	72 3 1
8月13日	羽 尻 吉 太 郎	但東町	付け木の道具(かんな)	1
8月17日	箴 部 修 一	但東町	自家用消火器(大正 ^{ポンプ} 唧筒)	1
10月25日	モンゴル国友好使節団	モンゴル国	弓 入 弓 銅製大型容器 銅製ポット ドムボ 弓矢の的(革製) 木製椀 食品木型 矢 サワル(糞拾い) 弓入れ 木製革なめし具 仏教舞踊仮面 骨製数珠(ドクロ) 弓矢の的飾り 弓用指貫 皮ひも 音楽カセットテープ 知恵の輪 シャガイ(一式) 木製臼 糞拾い籠 楽譜一式 ハダック(絹布) 大型ドムボ 食品型(4点組) シカの角(小型) 民族衣装デール一式	1 1 1 1 1 3 1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 4 1 1 1 1 1 1 8 2 1 1 1 14
11月4日	中 野 正 規	但東町	ハダック(儀礼用絹布)	2
11月11日	京 極 憲 州	但東町	野口英世にあてた母の手紙(写し)	1
平成15年3月12日	大 石 敏 彦	但東町	神棚(寄託) つけ木 野球グローブ テニスラケット	1 1 1 1
3月12日	赤野3組婦人会	但東町	油単(寄託) 祝い着(宮参り用男女中着)(寄託)	1 1

(2) 図書寄贈者一覧 (順不同・敬称略)

【個人】

受入日	氏名	住所	資料名	点数
平成14年4月30日	匿名	但東町	図書	107
5月12日	武部 富美男		アイハヌ (加藤九祚一人雑誌)	1
5月30日	楊 海 英	静岡市大谷	『成吉思汗〈全書〉』 19世紀モンゴル史における「国民反乱」	1 1
6月15日	藤井 昭 三	神戸市西区	モンゴルの青い空	1
平成15年3月1日	小長谷 有 紀	大阪府吹田市	MONGOLIAN CULTURE STUDIES IV	1
3月1日	楊 海 英	静岡市大谷	MONGOLIAN CULTURE STUDIES V	1
3月7日	淀江 賢一郎	島根県立宍道湖自然館	宍道湖・中海の漁具、漁法	1
3月12日	モンゴル 青年招聘団一行	モンゴル国	絵画 МОНГОЛ УНАДЭСНИЙ Б ИЙН БАРИЛДААН THE MONGOLS DIE MONGOLEN NATURAL HISTORY MUSEUM MONGOLIAN モンゴル歴史博物館総合案内 UNION OF MONGOLIAN ARTISTS 2000 モンゴル近代絵画展 (その源流と展開)	1 1 1 1 1 1 1

【団体】

【兵庫県内】

兵庫県教育委員会、神戸商船大学、姫路市書写の里美術工芸館、明石市立文化博物館、加古川総合文化センター、尼崎市教育委員会、川西市教育委員会、加西市教育委員会、小野市教育委員会、柏原町歴史民俗資料館、黒田庄町教育委員会、中町教育委員会、播磨町郷土資料館、夢前町教育委員会、新宮町教育委員会、竜野市立歴史文化資料館、赤穂市立歴史博物館、佐用郡教育委員会、但馬教育事務所、但馬文化協会、あさご芸術の森美術館、八鹿町教育委員会、日高町教育委員会、植村直己冒険館、竹野町教育委員会、美方町文化財審議委員会、家島町教育委員会、津名郡町村会、三原郡広域事務組合、西淡町教育委員会、一宮町教育委員会

【京都府】

城陽市歴史民俗資料館、綾部市資料館、大山崎町歴史資料館、京都府立丹後郷土資料館、京都府ふるさと文化再興事業推進実行委員会、野田川町教育委員会、弥栄町教育委員会、丹後町教育委員会

【大阪府】

大阪市立自然史博物館

【その他】

国立民族学博物館、国際鄂爾多斯蒙古文化経済研究

会、(材)北方文化振興協会、北海道立北方民族博物館、八戸市博物館、村田町教育委員会、富山市埋蔵文化財センター、滋賀県立大学、天理参考館、島根県立宍道湖自然館、徳島県立博物館、外務省

2. 購入資料

① 橋本家古文書 (一括)

但東町赤花の旧庄屋橋本家の江戸時代から明治時代までの古文書一式を京都市内の書店より一括購入した。

3. 資料の貸出

① 資母保育園

子供用民族衣装 2着・帽子 2点

平成14年8月3日～8月5日

② 奈良県三郷町立三郷小学校

民族衣装 大人用2着・子供用2着・帽子5点・帯4点・靴1点

平成14年9月8日～10月5日

③ 淀川フォーマル実行委員会

ゲル 1基

平成14年10月4日～10月6日

- ④ ECCジュニア・ハロウィーンパーティー
「世界の民族を知ろう」
民族衣装 2着・帽子5点・帯1点
平成14年10月25日～10月28日
- ⑤ 奈良県三郷町立三郷小学校
民族衣装 子供用2着・帽子2点・帯2点
平成14年11月9日～11月23日
- ⑥ 京都府宮津市立宮津小学校
民族衣装 子供用4着・帯4点・帽子4点・
文字パネル3点
平成14年11月24日～11月30日
- ⑦ 兵庫県国民健康保険団体連合会
博物館内外の写真 2点
平成15年1月15日～2月18日
- ⑧ 愛知川町びんてまりの館
ゲル 1基
平成15年2月14日～2月24日
- ⑨ 日本・モンゴル国交樹立30周年記念モンゴルフェア
大阪舶来マート30周年実行委員会
絵画 5点
平成15年3月14日～4月10日



(西谷誘導看板)

4. 資料の燻蒸

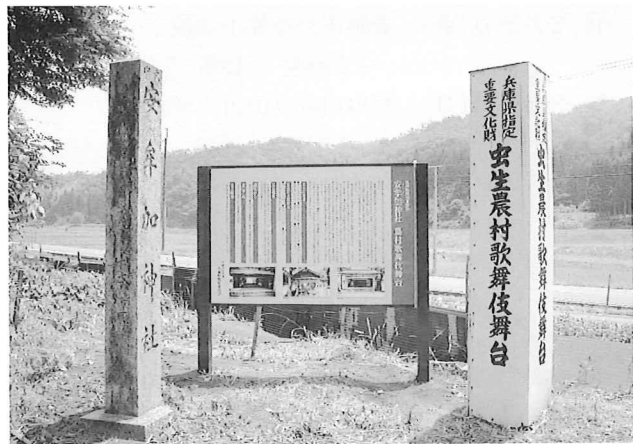
平成13年度より年2回に分けて、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系の殺虫剤を使用し、殺虫・防虫処理をした。

また、収蔵庫内は年間3回定期的に殺虫・防虫処理を実施している。

5. 文化財標柱設置

平成14年度事業として、西谷地内にある指定文化財、清竜の滝並びに十一面観音菩薩の誘導看板と、虫生地内に県指定文化財である安牟加神社農村歌舞伎舞台の解説パネルの老朽化に伴う付け替えの2箇所に設置した。

安牟加神社農村歌舞伎舞台壁面に解説パネルが設置されていたが、これを撤去し、舞台の近くにアルミ製の解説パネルを新規設置した。



(安牟加神社農村歌舞伎舞台解説板)

V. 普及教育事業

1. 出前授業

出前授業は、学校教育における総合学習を積極的に支援することを目的としたもので、当館では博物館の収蔵品を使い、児童らに見て、触れて感じてもらう授業として平成12年度から実施している。博物館が学校に出向くことによって、児童らに資料の活用の仕方や、

学ぶ意欲を高めてもらうのが大きなねらいである。

平成14年度は、近隣市町や阪神間の保育園、小学校20校に招かれ、民族楽器や写真パネル等の博物館資料を使った授業は反響も大きく、博物館をより身近に感じてもらうことができた。今後も積極的に展開し、国際理解学習を推進していきたい。

- ① 11月5日(火) 八鹿町立小佐小学校
1～6年生 44名 (大岸)
- ② 11月7日(木) 養父町立広谷小学校
2年生(町内5小学校合同) 100名 (大岸)
- ③ 1月24日(金) (社)ひむろこだま保育園
5歳児 22名 (大岸)
- ④ 1月28日(火) 神戸市立美賀多台小学校
2年生 157名 (金津)
- ⑤ 2月13日(木) 神崎町立大山小学校
5・6年生 40名 (大岸)
- ⑥ 2月14日(金) 豊岡市立八条小学校
2年生 58名 (大岸・高木)
- ⑦ 2月18日(火) 福知山市立三岳小学校
1～6年生 25名 (渡辺・柴田)
- ⑧ 2月20日(木) 久美浜町立川上小学校
2年生 11名 (柴田)
- ⑨ 2月24日(月) 和田山町立糸井小学校
2年生 32名 (大岸)
- ⑩ 2月24日(月) 和田山町立東河小学校
2年生 17名 (大岸)
- ⑪ 2月25日(火) 豊岡市立港西小学校
1・2年生 42名 (大岸)
- ⑫ 2月28日(金) 豊岡市立奈佐小学校
2年生 12名 (渡辺)
- ⑬ 3月3日(月) 野田川町立山田小学校
2年生 16名 (高木)
- ⑭ 3月4日(火) 西宮市立夙川小学校
2年生 121名 (金津)
- ⑮ 3月6日(木) 豊岡市立新田小学校
2年生 58名 (金津)
- ⑯ 3月10日(月) 姫路市立山田小学校
2年生 29名 (大岸)
- ⑰ 3月13日(木) 猪名川町立松尾台小学校
2年生 47名 (大岸)
- ⑱ 3月14日(金) 宮津市立由良小学校
1・2年生 28名 (渡辺)
- ⑲ 3月17日(月) 神戸市立鹿の子台小学校
2年生 216名 (金津)
- ⑳ 3月20日(木) 但東町立合橋小学校
2年生 18名 (渡辺)

2. 普及事業

(1) 文化財を活用した事業

但東町は、県下で最も多く農村歌舞伎舞台が残されてきた地域である。これまでの調査で江戸時代から大正時代までの18棟が現存確認され、関係者の間では農村歌舞伎舞台の町として認識されつつある。調査時点では19棟確認されたが、経年変化に伴う老朽化により取壊されたり、倉庫に転用されている舞台もあった。

この貴重な農村歌舞伎舞台群を地域資源として後世に伝えていくためには、より多くの地域住民に文化財としての認知をしてもらう必要がある。現状のまま保存していくためには舞台の活用策をきちんと提示していかなければならない。

本年は地元の女性劇団「ささゆり」の協力を得て、3舞台での公演活動を実施することができた。いずれの会場でも大きな反響があり、総計560人の参加者を得た。会場に設置したアンケートは今後も継続してほしい要望が数多く寄せられた。

9月21日(土)	唐川 岡 神社	140人
10月5日(土)	久畑 一宮神社	220人
10月19日(土)	畑山 日出神社	200人



(岡神社農村歌舞伎舞台での公演)

(2) 博物館教室

博物館教室の大半を子どもたちの夏休みに設定し、年間22回実施した。実施日数の割に参加者が低迷し、年間の総参加者は183人であった。

今後は、魅力ある教室の選択や工夫が求められていくだろう。

	期 日	教 室 内 容	講 師 名	人 数
1	7月20日	縄文住居を建てよう	金 津 匡 伸	延べ5
2	7月22日	勾玉ペンダントをつくろう	柴 田 明 子	15
3	7月23日	馬頭琴をつくろう	高 木 義 彦	1
4	7月25日	オリジナルグラスをつくろう	大 岸 勝 也	6
5	7月25日	茶道にチャレンジ	大 石 朝 美	10
6	7月27日	てん刻教室	渡 辺 保 幸	16
7	7月29日	縄文式土器をつくろう	金 津 匡 伸	6
8	7月30日	木の枝で生き物をつくっちゃおう	大 岸 勝 也	8
9	8月2日	モンゴルのおやつをつくろう	ス ー チ ン ド ロ ン	8
10	8月6日	てん刻教室	渡 辺 保 幸	12
11	8月11日	陶 芸 教 室	国 村 広 志	17
12	8月12日	縄文式土器をつくろう	金 津 匡 伸	6
13	8月16日	海水から塩をつくってみよう	高 木 義 彦	4
14	8月17日	てん刻教室	渡 辺 保 幸	12
15	8月19日	縄文時代の料理教室	渡 辺 律 子	9
16	8月23日	茶道にチャレンジ	大 石 朝 美	12
17	8月25日	シルバーアクセサリをつくろう	大 岸 勝 也	6
18	8月26日	縄文時代の楽器づくり	金 津 匡 伸	4
19	8月27日	皮のキーホルダーをつくろう	高 木 義 彦	5
20	11月30日	版 画 教 室	羽 尻 登	7
21	12月7日	版 画 教 室	羽 尻 登	3
22	12月14日	版 画 教 室	羽 尻 登	11
			合 計	183

(3) 川の学校 (25人)

8月7日、浜坂町在住の環境省自然公園指導員山本一幸氏を講師に、出合市場の出石川において川の学校

を開き、魚や水生昆虫の観察・分別、ストーンペインティングなど自然体験学習を実施した。また、図書コーナーの一角に世界一小さな水族館を新設し、太田川の生き物を展示している。



(太田川の生き物を展示)



(観察する子どもたち)

3. 「トライやるウィーク」の受入

兵庫県教育委員会の事業として中学生の地域体験学習「トライやるウィーク」で生徒の希望に応じて博物館体験を5月27日（月）から31日（金）までの5日間受け入れた。本事業は中学2年生が1週間、学校を離れて地域社会での実体験を通して学習する試みとして平成10年度より始まっている。

博物館体験は但東中学校2年生が5名（森脇貴宏、森井祐生、近本拓也、坂本久美、松岡静香）、但東北中学校2年生が4名（今井貴浩、柴原智也、山本達也、藤原久子）の9名を受け入れ、開館前の館内外の清掃・竪穴式住居建築準備・土器作り・塩作り・花苗の移植などを体験した。



（竪穴式住居敷地造成）



（竪穴式住居の木材処理）

【参加者の感想】

- ◎ トライやるウィークでは大変お世話になりました。その後、竪穴式住居の進み具合はどうか？僕たちも時間ができれば手伝いにいきたいです。本当にありがとうございました。

- ◎ 今回の実習のおかげで、僕はあいさつの大切さ、何事も積極的にいかになくちゃダメなことなどを学ぶことができました。また、海水から塩を作るやり方など貴重な体験をすることができました。
- ◎ 今回の実習は、とても貴重な体験になりました。仕事やそうじの大変さ、いろんな仕事をさせてもらってたくさん苦労されたと思います。
- ◎ 僕にとって大変貴重な体験になりました。仕事に責任を持つことの大変さなどたくさんのことを学ばせていただきました。木の皮のめくり方や道具の使い方など親切に教えてもらいありがとうございました。
- ◎ 今回の実習で、昔の人々の生活の大変さが学べました。私は、モンゴル博物館でトライやるウィークができてとてもうれしかったです。

4. 講師派遣

出前授業とは別に館外から依頼を受けて行った講師派遣を、月日・担当者・内容（依頼者）の順に記録しておく。これらも広義の普及教育活動につながるとの観点から、業務に支障のない範囲で依頼を受け入れることにしている。

【平成14年度】

- ① 4月4日 金津匡伸 豊岡南中学校生徒会
『モンゴルへの支援活動のあり方』
- ② 4月24日 金津匡伸 但東町同友会総会
『モンゴルで暮らしてみて』
- ③ 6月15日 金津匡伸 資母小学校PTA研修
『人との出会い』
- ④ 6月16日 金津匡伸 兵庫県公民館運営審議会総会
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑤ 6月18日 金津匡伸 兵庫県立いなみ野学園2年生
『モンゴルの過去と現代』
- ⑥ 7月8日 金津匡伸 出石郡教頭会
『マクドナルド化していく日本文化』
- ⑦ 8月8日 金津匡伸 兵庫県高校地理学科研修
『モンゴルの暮らし』
- ⑧ 8月10日 金津匡伸 全国子ども会リーダー研修
『モンゴルの暮らしから学んだこと』
- ⑨ 8月16日 金津匡伸 豊岡南中学校生徒会
『モンゴルへの支援活動のあり方』
- ⑩ 8月20日 金津匡伸 但東町教育研修会
『古代の出石郡・三原石田遺跡』
- ⑪ 10月31日 金津匡伸 宮津市立宮津小学校
『国際交流の大切さ』

- ⑫ 11月11日 金津匡伸 但東町同友会交流会
『モンゴルとの交流』
- ⑬ 11月24日 金津匡伸 出石郡PTA協議会
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑭ 2月15日 金津匡伸 津名郡一宮町教育委員会
『地方に暮らして世界を視る』

5. 出版活動

館外からの原稿依頼を受けて行った雑誌や機関紙等を記録しておく。これらも広義の普及教育活動につながるとの観点から、業務に支障のない範囲で依頼を受け入れることにしている。

- ① 平成14年11月3日 金津匡伸
『地域の国際化支援を 神戸新聞 神戸新聞を読んで』
- ② 平成14年11月10日 金津匡伸
『紙面の作り手を思う 神戸新聞 神戸新聞を読んで』
- ③ 平成14年11月7日 金津匡伸
『新しい博物館の試み 神戸新聞 神戸新聞を読んで』
- ④ 平成14年11月24日 金津匡伸
『モンゴルの民から学ぶ 神戸新聞 神戸新聞を読んで』
- ⑤ 平成14年12月 金津匡伸
『魅せますモンゴルの四季 モンゴル航空機内誌スカイブルー』

6. ホームページの開設

近年、急速に発展している高度情報化社会にあつて、当館と利用者の架け橋として、インターネットを利用し、博物館情報を提供している。この活動は、利用者の皆様が親しまれる博物館として、より一層身近に感じていただけるよう、平成11年8月に開設した。このホームページ開設にあたり、兵庫県国際交流協会からパソコン一式寄贈を受けている。ホームページでは、当館が所蔵する資料の紹介、利用案内、企画展や講演会などの催し物情報等をできるだけ最新の情報で提供している。職員による手作りのため決して満足いただけるものではないが、更新を重ねながら情報を提供していきたい。

博物館公式ホームページ

<http://www.monpaku.com/>

博物館E-mailアドレス

info@monpaku.com

7. 子ども放送局

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステム（エル・ネット）子ども放送局受信設備を平成11

年度文部省の国庫補助事業である「学習活動支援設備整備事業」により設置した。放映は従来毎月第2・4土曜日のみであったが、学校週5日制の実施に伴い毎土曜日に放映されることになった。このほか、教育関係者を対象にした研修や事業説明などに活用した。

また、各大学のオープンカレッジなど番組の内容も充実された。

8. 博物館学芸員実習生の受入

今回で3回目となる博物館学芸員実習生の受入は、京都外国語大学外国語学部中国語学科の学生、和田美佳子を8月10日から20日まで博物館業務の修得を目的に受け入れた。指導内容は、受付補助、体験教室の補助、解説補助、ホームページの更新、文化財の調査、施設見学（丹後郷土資料館・椿文化資料館）などを行った。

【実習生の感想（原文のまま）】

博物館実習では、久しぶりにすることと初体験を毎日させていただきました。「体で感じることは何よりも収穫だ」と職員の方がおっしゃいましたが、実際にやってみたらこそ気づいたことの多さに驚いています。

また、この10日間で但馬の良さを再確認できました。普段はそう意識していなかったことですが、地域の人たちとの交流、子どもたちとの活動、自然や文化財にまで触れ、自分の生まれ育った土地の良さを感じました。これは、おそらく当館だったからだと思います。さらに、教育と博物館との関係についても考えさせられました。学社融合の動きが進み、この二つを切り離して考えられなくなってきている中で、当館では体験教室などの様々な活動をされており、子どもたちに「社」すわち「社会」を教える場を提供されています。「博物館イコール珍しいものがあるところ」というイメージが大きいですが、一度見たものは珍しくなくなってしまう、リピーターはあまり望めません。様々な活動や情報を発信されることにより、子どもたちや地域の方々やリピーターの入館も期待できるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、館長さんをはじめ職員のみなさまには数えきれないほどのご迷惑をおかけし、すみませんでした。博物館実習生としてだけでなく、それ以上に多くのことを教えていただきました。貴重な経験をさせていただき感謝しています。本当にありがとうございました。

VI. 国際交流事業

1. モンゴル国若手芸術家支援活動

モンゴル国の著名な画家として活躍しているD. ウルタナサン氏と助手のG. バルスボルド氏の2名を8月27日から11月15日の間招聘し、創作活動を支援した。滞在中に製作した作品は当館に寄贈いただき、モンゴルの伝統絵画を紹介するコーナーとして展示する計画である。



(創作風景)

寄贈いただいた作品は、縦1m×幅6mの大作でモンゴルの伝統技法ナクタンを駆使して、チンギスハーンの生涯を描いたものである。



(使節団との懇談)



(学校給食を体験)

2. モンゴル国友好使節団の来日

10月19日～10月25日の7日間、モンゴル・但東シルクロード友好協会会長K. バヤンムンフ氏を団長に外14名を招聘した。今回の招聘は主に大学生と中学生で構成され、滞在期間中はホームステイをしながら但東町内小中学校、浜坂町や温泉町の中学生との交流をはじめ、イベントへの参加や出演などで親交を深めた。

小中学校との交流は、モンゴルと日本の遊びや音楽、体育の授業に参加したり学校給食も体験した。また、イベントへの参加は農村歌舞伎舞臺でコーラスを披露、民族衣装を着て着物パレードに参加するなど多くの人々と交流することができた。



(音楽をとおしての交流)

3. モンゴル国立民族音楽団の来館

モンゴル国友好使節団滞在中、浜坂町での「子どもNGO懐」との出会いを契機に代表の高森拓也氏のご好意により但東町において、ボランティア・コンサートを開催したい旨申し出を受け、11月11日但東中学校及び資母小学校において、モンゴル国を代表する歌手シャルフーヒンさんらモンゴル国立民族音楽団5名によるコンサートの実現をみる事ができた。さらに、D・ウルタナサン氏の完成したばかりの絵画『上天より命ありて生まれたる蒼き狼』の入魂式もモンゴル国立民族音楽団により、モンゴルの伝統にしたがい挙行了した。



(コンサートの模様)



(絵画の入魂式)

4. 外務省モンゴル青年招聘 美術館・博物館学芸員の来館

外務省の直轄事業でモンゴル青年を3月12～13日の

2日間受け入れた。一行は、外務省津下洋子事務官外6名で、特にモンゴルと関係の深い町を訪問し、現在モンゴルで活躍中の若手学芸員に日本の美術館・博物館の現状を広く見聞することを目的に外務省が招聘したものである。一行は但東町長、教育長を表敬訪問したのち当館を見学し、情報交換を行った。



(情報交換する学芸員)



(館内の見学)

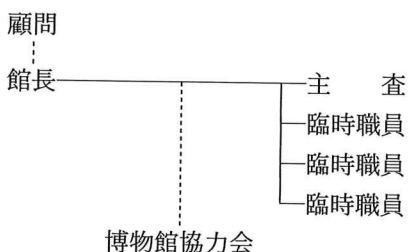
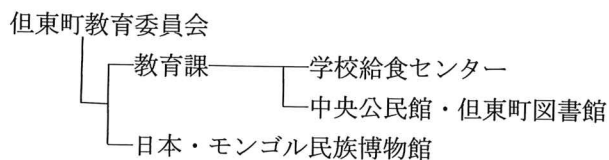
外務省モンゴル青年招聘者

1. Kh. プレプトクトホ氏 30才
教育文化科学省 文化芸術政策調整局副局長
2. V. グンデグマー女史 24才
国立自然史博物館研究員
3. B. バーサンジャルガル女史 26才
国立民族歴史博物館職員
4. E. バンズラグチ女史 38才
国立ギャラリーマネージャー
5. B. ニャムフー氏 31才
モンゴル芸術家連盟調査員

VII. 管理運営

1. 組織・職員（平成15年3月31日現在）

(1) 組織



(2) 職員

館長	金津匡伸（平成8年11月～）
主査	大岸勝也（平成8年11月～）
臨時職員	高木義彦（平成13年4月～）
臨時職員	渡辺律子（平成8年11月～）
臨時職員	柴田明子（平成13年4月～）

金津匡伸	博物館活動・事業の推進、博物館の管理運営、博物館の普及・広報活動、資料の収集・保管、資料の展示（常設・企画）、資料の調査研究
大岸勝也	博物館活動（講習会、教室、展示会等）、各種団体・機関との連絡調整、公民館との連携活動、博物館協力会、国際交流、民俗資料・民俗資料館の管理運営
高木義彦	博物館活動（講習会、教室、展示会等）、文化財調査委員会
渡辺律子	歳入歳出予算及び経理、博物館の庶務
柴田明子	入館者の受付・案内、公文書の経理、館内清掃に関すること

2. 予算の概要（当初予算額）単位：千円

[博物館費]	45,463
① 給料(2人)	8,198
② 職員手当等	14,975(管理職手当 485、扶養手当 660、調整手当 467、通勤手当 491、時間外勤務手当 785、特例一時金期末手当 4,805、勤勉手当 919、寒冷地手当 179、住居手当 282、児童手当 60、嘱託手当 5,834)

③ 共済費	1,575
④ 旅費	556
⑤ 需用費	10,273(消耗品費 1,641、印刷製本費 914、光熱水費 7,667、営繕費 51)
⑥ 役務費	961
⑦ 委託料	1,871(警備保障委託費 276、電気保安点検料 207、資料燻蒸委託料 212、ガラス清掃委託料 182、フロア清掃委託料 282、軒先清掃委託料 84、自動ドア点検委託料 118、シルバー人材センター委託料 510)
⑧ 使用料及び賃借料	1,209(使用料 1,209)
⑨ 備品購入費	470
⑩ 負担金	41(県博物館協会 10、但馬地域博物館連絡会 25、テレビ組合 6)
⑪ 公課費	19(重量税 19)
⑫ 企画展費	3,420(需用費 3,300、役務費 120)
⑬ 活動費	1,894(報償費 330、需用費 1,084、委託料 160、使用料 320)

[文化財費] 1,678

① 文化財調査委員会費	259(報酬 159、旅費 50、需用費 50)
② 文化財調査保存費	1,099(報償費 200、旅費 88、需用費 632、備品購入費 179)
③ 埋蔵文化財調査費	320(需用費 60、委託料 260)

3. 入館者利用状況

平成8年11月3日に開館してから6年5ヶ月を経過した。累計で203,609名の方に見学いただいた。

平成14年度の内訳は次のとおりである。利用者数は31,047名で前年とほぼ同数で、有料が14,899名、無料が16,148名である。但東町民の博物館利用は3,945名で全体の13%程度であり、前年度より町民の利用がやや減少した。また、雪が多いという但馬のイメージから冬期における利用が極端に低くなる傾向にあり、季節や天候、周辺におけるイベントの有無により左右されやすい環境にある。

【平成8年度（開館日：123日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民								1,507	464	361	407	646	3,385
一般								2,409	1,052	960	1,173	2,545	8,138
高大								26	28	19	20	159	252
小中								183	37	103	96	367	786
その他								3,000	1	19	63	159	3,242
計								7,125	1,581	1,462	1,759	3,876	15,803
1日平均								297	69	58	73	144	128

【平成9年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	762	445	404	492	530	259	251	255	240	261	212	337	4,448
一般	4,251	3,262	3,100	1,898	2,882	2,085	2,232	2,736	1,172	833	1,153	1,666	27,270
高大	45	61	33	17	172	38	14	12	6	18	15	145	576
小中	436	418	109	149	544	213	147	102	32	66	39	199	2,454
その他	359	610	245	973	372	173	204	448	96	125	137	248	3,990
計	5,853	4,796	3,891	3,529	4,500	2,768	2,848	3,553	1,546	1,303	1,556	2,595	38,738
1日平均	234	178	150	136	167	106	110	137	67	54	65	96	126

【平成10年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	450	283	263	286	466	318	289	322	223	98	133	255	3,386
一般	4,712	1,719	1,173	1,051	1,607	1,120	1,582	2,271	935	1,727	2,307	1,213	21,417
高大	42	30	11	54	266	97	10	24	7	5	12	73	631
小中	561	152	41	66	322	43	36	65	29	37	33	127	1,512
その他	569	612	252	284	367	490	337	414	122	173	185	283	4,088
計	6,334	2,796	1,740	1,741	3,028	2,068	2,254	3,093	1,316	2,040	2,670	1,951	31,034
1日平均	235	104	67	76	112	83	83	119	57	85	111	75	101

【平成11年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	287	277	371	453	499	275	324	267	166	160	139	188	3,406
一般	3,975	1,707	1,149	1,084	1,966	930	1,380	1,526	738	720	664	821	16,660
高大	43	41	15	32	126	11	69	19	9	7	15	22	409
小中	602	190	10	59	280	29	44	41	21	41	38	95	1,450
その他	1,229	418	283	242	706	183	482	340	171	206	221	316	4,797
計	6,136	2,633	1,828	1,870	3,577	1,428	2,299	2,193	1,105	1,134	1,077	1,442	26,722
1日平均	227	98	73	69	132	60	85	84	48	47	43	55	87

【平成12年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民	758	411	378	518	830	296	527	280	214	137	311	271	4,931
一 般	4,308	1,494	1,043	976	1,362	1,087	1,363	1,145	733	410	834	869	15,624
高 大	167	59	20	10	62	21	13	50	11	3	11	31	458
小 中	559	181	17	61	194	50	37	26	42	38	42	60	1,307
そ の 他	1,824	688	396	304	587	484	638	528	397	147	434	431	6,858
計	7,616	2,833	1,854	1,869	3,035	1,938	2,578	2,029	1,397	735	1,632	1,662	29,178
1日平均	272	105	71	69	117	75	96	88	61	32	68	62	95

【平成13年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民		405	426	415	630	496	453	376	143	275	340	269	4,688
一 般	4,831	1,495	1,166	665	1,200	1,537	1,216	1,665	977	726	703	1,180	17,361
高 大	198	34	13	7	49	12	24	193	41	2	10	24	607
小 中	514	72	27	30	187	100	40	56	47	47	35	72	1,227
そ の 他	2,537	703	445	315	545	420	516	446	437	279	213	348	7,204
計	8,540	2,709	2,077	1,432	2,611	2,565	2,249	2,736	1,645	1,329	1,301	1,893	31,087
1日平均	316	104	80	53	100	99	87	105	72	55	54	70	101

【平成14年度（開館日：310日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民	478	411	268	451	698	354	276	243	153	125	276	212	3,945
一 般	2,500	1,465	806	653	1,194	921	982	1,587	829	444	930	909	13,280
高 大	35	27	7	22	70	25	151	12	14	3	6	41	413
小 中	447	105	22	54	195	43	22	57	36	20	72	120	1,206
そ の 他	1,786	652	327	255	626	349	6,274	449	301	151	408	625	12,203
計	5,306	2,660	1,430	1,435	2,783	1,692	7,705	2,348	1,346	743	1,629	1,907	31,047
1日平均	189	102	55	55	99	65	285	90	58	32	70	70	100

4. 施設管理

つまでも美しい建物にしよう」という声が上がリ、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。平成14年の活動内容は以下のとおりである。

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託しているが、雑草種子の飛来や排水が悪いため苔が繁茂し芝自体の老朽化が進んでいる。

◎平成14年役員

(任期：平成14年1月1日～12月31日)

会 長 宮垣 敬一

常任理事 塩川 剛三

理 事 14名 顧 問 9名

5. 博物館協力会

博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「い

◎平成14年活動内容(1月～12月)

【平成14年度】

- 2月15日 役員会
- 2月17日 かまくら作り教室協賛
- 3月15日 販売所反省会
- 3月31日 博物館前販売所開店
- 4月12日～24日
チューリップまつり協賛販売所開店
- 5月6日 カンナ植え付け
- 6月17日 如布区博物館芝生広場雑草除去作業
- 6月28日 但東いろどりフェスタ2002体験交流委員会
- 10月13日 如布神社神楽披露
- 10月20日 但東いろどりフェスタ2002協賛
- 11月10日 カンナ球根掘り・役員会・懇親会(モンゴル画家ウルタナサン氏・パルスボルド氏送別会)
- 12月1日 博物館前販売所閉店
- 12月17日 販売所反省会

3月31日から12月1日まで延60日、博物館前の販売所にて観光案内と物産販売を行い、ボランティア延べ175名の協力を得た。

6. 博物館日誌抄

- 4月1日 辞令交付式
- 4月2日 資母小学校稲葉教諭転任あいさつ
- 4月2日 チューリップまつり打合せ
- 4月4日 時を奏でるホテル新任研修
- 4月4日 出石警察鯉田茂樹警備課長・橋本正人巡查、高橋小学校伊崎照夫校長・原田芳男教頭着任あいさつ
- 4月5日 但東北中学校小畑宏明校長転任あいさつ
- 4月6日 C・S衛星放送ゲル組立体験活動収録
- 4月7日 毎日放送三多隆志氏チューリップ取材下見来館
- 4月8日 軒下ガラス清掃
- 4月11日 山貴交易山崎治雄社長来館、館内薫蒸
- 4月12日 チューリップまつり開園
- 4月14日 西日本実業柔道連盟常任理事藤原良平氏外3名来館、毎日新聞武井澄人氏来館
- 4月18日 第16回企画展『DOK I DOK I 縄文ワールド』展示替え・4月18日～12月10日、合橋小学校1・2年生41名遠足来館
- 4月23日 高橋小学校1～4年生40名・幼稚園12名遠足来館
- 4月25日 神鋼パンテックユニオン関谷久之氏外3名来館、チューリップまつり閉園
- 4月26日 北星社図書システムセットアップ来館
- 5月2日 図書入れ替え・北星社図書システムセットアップ来館
- 5月4日 県民芸術劇場元課長藤原氏来館
- 5月5日 こどもの日小中学生入館料免除
- 5月7日 町内小中学校新任教職員研修7名受入
- 5月9日 姫路市立美術館亀田正司氏講座準備のため取材来館
- 5月10日 久美浜町高龍寺中学校校外授業67名来館
- 5月10日 消防施設点検
- 5月12日 新潟県議会特別委員会行政視察
- 5月13日 自動ドア点検
- 5月16日 松岡調査測量事務所より亀ヶ城跡製図納品
- 5月17日 伝承文化体験交流館瑕疵検査(2年目)
- 5月20日 トライやるウィーク打合せ
- 5月23日 全館ガラス清掃
- 5月24日 源流シンポジウム(奈良県川上村)に参加
- 5月27日 トライやるウィーク開始9名受入(～5月31日)
- 5月28日 神鋼パンテックユニオン関谷久之委員長来館
- 5月29日 全館フローア清掃
- 5月31日 トライやるウィーク最終日
- 6月2日 豊岡市出土文化財管理センター潮崎誠氏企画展示室撮影来館
- 6月3日 豊岡土木事務所但東事業所藤原文雄氏亀ヶ城史跡位置確認のため来館
- 6月9日 徳島県那賀川町国際交流協会来館(那賀川町科学センター館長川野均氏外8名)
- 6月13日 但東中学校17名校外授業(亀ヶ城)現地視察
- 6月23日 兵庫県議会議員日村豊彦氏来館・歌手谷五郎氏来館
- 6月28日 但東いろどりフェスタ2002交流委員会、但東町指定金融機関たじま農協に変更
- 6月30日 豊岡市中筋小学校2学年PTA38名来館
- 7月8日 出石郡小中学校教頭研修会
- 7月11日 豊岡土木事務所但東事業所藤原文雄氏外1名砂防工事計画に伴う亀ヶ城跡および周辺現地確認調査、但東町社会教育委員伝承文化体験交流館利用状況について来館
- 7月18日 但東中学校1年生47名社会科・美術科校外学習のため来館
- 7月21日 神鋼パンテック理事山本勝年氏・係長奥川稔氏来館
- 7月26日 兵庫県議会産業労働常任委員会17名行政視察
- 7月28日 読売新聞馬頭琴コンサート取材
- 7月29日 文化財調査委員会
- 8月1日 決算監査

8月3日	鶴田誠樹木医・宮田和男樹木医により河ノ辺の山桜現地調査	作業開始	
8月5日	兵庫県子ども会連絡協議会常任理事速水順一郎氏リーダートレーニングキャンプの実施について来館	10月5日	劇団「ささゆり」農村歌舞伎舞台久畑公演 220名入場
8月6日	立命館大学藤原氏外4名来館	10月7日	毎日放送三多隆志氏来館、シルバー人材センター大石局長堅穴式住居づくり打ち合わせ、但東北中学校生徒25名校外学習来館
8月8日	兵庫県高等学校教育研究会地理部会8名来館	10月10日	京都府加悦谷高等学校学生79名校外学習来館
8月9日	トライやるウィーク受入中学生による奉仕作業	10月13日	如布神楽博物館駐車場で披露
8月10日	兵庫県子ども会連絡協議会10名リーダートレーニングキャンプ参加者来館、博物館実習生和田美佳子受入	10月15日	シルバー人材センター芝生広場除草(～17日)
8月13日	馬頭琴コンサート	10月17日	日本海新聞モンゴル絵画の創作活動取材
8月16日	豊岡北中学校生徒会モンゴル支援について研修	10月19日	モンゴル友好使節団ホルロー、パヤンムンフ氏外14名来日(～25日)、劇団「さゆり」農村歌舞伎舞台畑山公演 200名入場
8月17日	北淡町教育委員会人権教育学級島外学習事業41名受入	10月20日	但東いろどりフェスタ2002協賛、モンゴル友好使節団フェスタに参加 入館料無料
8月20日	山形大学教授松尾剛次氏来館、外務省中国課藤高勘二氏来館	10月22日	青森県八戸市中村章氏来館
8月22日	文化財調査委員会河ノ辺の山桜現地視察並びに委員会、産経新聞河ノ辺の山桜取材	10月24日	毎日放送三多隆志氏来館、兵庫県子ども会連絡協議会常任理事速水順一郎氏外1名来館
8月27日	D. ウルタナサン氏・G. バルスボルド氏来日、自動ドア点検	10月25日	モンゴル友好使節団帰国、近畿東海北陸農政局・兵庫県農村環境課視察来館、NHK豊岡通信部モンゴル絵画の創作活動取材
8月29日	D. ウルタナサン氏・G. バルスボルド氏来日(～11月15日)	10月27日	毎日テレビ5:20～テレビタ刊モンゴルと但東の子どもたちの交流を放映
9月2日	読売新聞モンゴル絵画の創作活動取材	10月29日	出石郡小中学校校長会視察来館
9月3日	朝日新聞モンゴル絵画の創作活動取材	10月31日	兵庫県博物館協会理事会
9月5日	神戸新聞モンゴル絵画の創作活動取材	11月3日	兵庫県子ども会連絡協議会ファミリーキャンプ参加者23名来館
9月6日	サンテレビモンゴル絵画の創作活動取材、カマル社取材	11月8日	産経新聞モンゴル絵画の創作活動取材
9月9日	関西テレビモンゴル絵画の創作活動取材	11月10日	緑の協力員岡本誠喜氏パンジー定植に来館
9月10日	但馬文化協会徳山喜重氏但東町の祭りについて取材、やまびこ従業員研修受入	11月11日	モンゴル伝統絵画「上天より命ありて生まれた蒼き狼」の入魂式にモンゴル国立民族音楽団来館：毎日放送三多隆志氏・浜坂町“懐”高森拓也氏、神戸新聞・読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・産経新聞入魂式を取材
9月15日	敬老の日65歳以上入館料無料	11月12日	第17回企画展打合せ
9月19日	但東北中学校生徒7名校外学習来館	11月13日	但東町教育研究協議会ミニチュアゲル組立体験8名来館
9月21日	姫路市立美術館学芸課長堀澤光栄氏来館、劇団「ささゆり」農村歌舞伎舞台唐川公演 140名入場	11月14日	神鋼パンテック関谷久之氏外24名来館、但東中学校2年生11名亀ヶ城の模型持参
9月24日	資母小学校4年生26名校外学習来館、第17回企画展打合、近畿郵政局職員向け情報誌の取材に来館	11月15日	D. ウルタナサン氏・G. バルスボルド氏帰国
9月26日	但馬社会教育委員会研修会27名来館	11月16日	西淡町文化財保護委員会研修受入
9月28日	宮田和男樹木医河ノ辺の山桜観察(現地)	11月20日	福井県勝山こどもの村小学校校外活動受入(～21日)
9月29日	毎日新聞モンゴル絵画の創作活動取材	11月24日	こうのとりの会21名視察来館
10月1日	資母小学校4年生26名校外学習来館	11月29日	自動ドア点検
10月3日	豊岡市神美小学校1・2年生42名社会見学来館		
10月4日	シルバー人材センター堅穴式住居の屋根葺き		

12月1日 桜の苗15本博物館裏堤防に植樹
 12月3日 兵庫県立嬉野台生涯教育センター総務課長股野孝司氏外5名来館、資母小学校3年生16名校外学習来館
 12月10日 第17回企画展『但東の文化財～神・民・まつり』展示替え（12月12日～15年3月4日）
 12月11日 和歌山県きのくにこどもむら学園校外活動受入（～12日）
 12月16日 兵庫県青少年本部課長立脇ひろこ氏外1名来館、神戸新聞企画展取材
 12月18日 全館フロア清掃
 12月20日 博物館前門松立て
 12月27日 用務納め
 1月5日 博物館用務初め
 1月6日 豊岡南高等学校渡辺保幸氏次回企画展打ち合わせのため来館
 1月7日 神鋼パントック関谷久之氏外1名来館
 1月10日 公民館図書入れ替え
 1月17日 博物館職員植村直己冒険館視察
 1月24日 読売新聞企画展取材
 2月1日 日本・モンゴル民族博物館入館20万人達成(西宮市 萩野慶子氏)
 2月11日 朝日新聞、読売新聞、毎日新聞かまくらづくり取材
 2月21日 豊岡南高等学校渡辺保幸氏次回企画展打ち合わせ来館
 2月24日 自動ドア点検
 3月2日 日本の鬼の交流博物館館長村上政市氏博物館実習生引率来館
 3月4日 第17回企画展片付け
 3月5日 第18回企画展『但馬高等学校・美術、書道部顧問による美術展』展示作業につき豊岡南高等学校渡辺保幸氏外県立高等学校教員来館・（3月6日～4月2日）
 3月8日 兵庫県教育委員会係長村上裕道氏来館
 3月18日 但東町建設課技師山本陽一氏開発予定地の文化財について打ち合せ
 3月24日 但東町新任職員塩川恵里研修
 3月27日 但東町新任職員永井亜季子研修
 3月31日 退職者辞令交付式

7. お客様の声より抜粋

以下は平成14年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員としては真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている。

- ◎ 4月9日 兵庫県出石町（女性）
 こんなかわいいお部屋に住みたい。おどろいたのは水道があるということ、少し勘違いしていた気がします。文化の表面やテレビで映し出される部分しか見ていなかったのだと思います。世界史を習っているので、歴史がリアルですごくと思いました。
- ◎ 4月13日（女性）
 ここに来てモンゴルの歴史の深さと、モンゴルの国というものを知りました。これまで国のことは興味をもちませんでした、ここに来ると心がモンゴルに惹かれていきました。モンゴルっていいなあ～今日初めて実感しました。
- ◎ 4月16日（女性）
 チューリップ祭りの帰りによりました。珍しいものや、テレビで見慣れたものなど楽しく見せていただきました。
- ◎ 4月18日 兵庫県柏原町（女性）
 モンゴル民族の暮らしがよくわかり、とても良かったです。
 モンゴル・チベット・アジア好きにはたまりません。
- ◎ 4月21日 兵庫県豊岡市（女性）
 触ったり、服が着れて楽しかった。モンゴルの食べ物があったらいいなあ～。
- ◎ 4月22日 兵庫県但東町（女性）
 今学校で勉強している縄文時代のことがよくわかりました。
- ◎ 4月27日（女性）
 毎年来るたびに変化していて驚いています。今年は日本とモンゴル国交30周年イベントも沢山あり、益々の交流が図れることを期待しています。
- ◎ 4月28日 大阪府豊中市（男性）
 こんなに良くできたところとは思いませんでした。子どもの勉強にもなり、来て良かったです。
- ◎ 4月28日 兵庫県豊岡市（男性）
 以外と多くの展示があり驚き、大いに楽しませていただきました。
- ◎ 4月28日（女性）
 本当にモンゴルにきたみたい、ふしぎなところに来たみたいです。
- ◎ 4月29日 京都市伏見区（女性）
 子どもの「スーホーの白い馬」の学習でやってきました。スーホーの暮らし、あこがれの馬頭琴を見て喜んでいましたがさわれなくて残念でした。でも、CDを聞いたり衣装を着て満足して帰ります。

- ◎ 5月3日 兵庫県芦屋市 (女性)
学校で歴史のことを習っていますが、モンゴルのことがよくわからなくて……。ここに来てよくわかりました。
- ◎ 5月6日 京都府福知山市 (男性)
立派で貴重な品々の展示に感動しました。大事に長く展示してください。また、モンゴル理解に役立て国際交流が盛んになることは大変よいことです。
- ◎ 5月6日 大阪府 (男性)
但東町とモンゴルが交流していたとは知りませんでした。食文化から居住そのほかよく分かり楽しいです。ゲルの中は静かで意外に落ち着きますね。衣装も着てみましたが暖かいですね。非常に楽しかったです。
- ◎ 5月6日 (女性)
モンゴルはくぶつかんは、モンゴルのことを「こんなところだよ」と、おしえるようなかんじで作ってあります。モンゴルはこんなところだなとわたしは思いました。
- ◎ 5月10日 青森県黒石市 (男性)
自宅の近くにある三内丸山遺跡のビデオが上映されており嬉しかった。
- ◎ 5月10日 (男性)
面白いところのようですね。知らない国だけここでモンゴルの国が全部見えたような気がしました。ここは県立ですか？充実した内容ですし、私たちの税金をこのような文化に使ってください。
- ◎ 5月17日 兵庫県赤穂市 (男・女性)
夏休みに孫を連れてもう一度来ます。よい勉強になりました。
- ◎ 5月21日 兵庫県日高町 (女性)
お客様が来られたらまたつれて来てあげたい。
- ◎ 5月31日 大阪市東住吉区 (男性)
すごく内容が充実しており、これで500円は安い。何回も来てみたいし、もっとたくさんの人にここを知ってもらいたいです。
- ◎ 6月11日 東京都千代田区 (男性)
維持運営が大変ですが頑張ってください。
- ◎ 6月13日 宮崎県 (女性)
久しぶりの里帰りで退屈していたところ、母の勧めでやってきました。食や住まいの文化に興味を持ちました。厳しい自然の中で家族が協力しあって生活しているところが大変だろうなあ〜と思いつつも、うらやましくも感じます。
- ◎ 6月16日 和歌山県西牟婁郡 (男性)
環境が落ち着いて心が安らぐ感じがします。モンゴルにはあまり関心がありませんが、いろんな国の文化を紹介する施設ができることは文化交流の面で大事なことです。
- ◎ 6月22日 兵庫県西宮市 (女性)
今までまったく知らなかったモンゴルの文化が少しでもわかりよかったです。
- ◎ 6月25日 京都府舞鶴市 (女性)
とてもよく揃っていると思います。テレビで見ると同じでした。
- ◎ 7月13日 京都府福知山市 (女性)
伝承文化体験交流館が面白かった。モンゴルの展示と並んで充実させてほしい。
- ◎ 7月21日 奈良県桜井市 (女性)
モンゴルに行ったことがあります。本当によく資料を集められ雰囲気も大切にされているとおもいます。他の人にも教えてあげたいです。
- ◎ 7月21日 兵庫県川西市 (男性)
立派な博物館に感動しました。友人に手紙で紹介しておきます。モンゴルのお相撲さん頑張ってください。
- ◎ 7月21日 兵庫県篠山市 (女性)
モンゴルの生活環境、ゲルの中でなにかホットするひと時を過ごしています。すてきですね。実際にこういうところで生活をし、厳しい寒さもしのげるんですね。よかったです。
- ◎ 7月27日 神戸市須磨区 (女性)
クイズなどつくってほしいです。
- ◎ 7月27日 大阪府守口市
ゲルがこんなに広いとは思いませんでした。2年生のときにスーホの白い馬を国語でならいました。とてもかんどうしました。
- ◎ 8月2日 大阪府枚方市 (女性)
モンゴル衣装が着れるところ、モンゴルの家、日本の家など体験するところがあっておもしろかった。
- ◎ 8月4日 大阪府豊中市 (女性)
もう少し子どもが楽しめるような体験コーナーがほしい。でもおもしろかった。
- ◎ 8月4日 兵庫県明石市 (女性)
映画もおもしろく、子どもたちは衣装着て楽しみました。とても楽しかったです。
- ◎ 8月5日 大阪府豊中市 (女性)
初めてゲルの中に入りました。意外と広く、またコンパクトに生活用品がまとめられていることに感動、生活の知恵、生きる知恵だと思います。
- ◎ 8月10日 和歌山県伊都郡 (男性)
刀の中身が見たかった。受付の人がとても感じよく癒されました。
- ◎ 8月11日 兵庫県豊岡市 (女性)
来るたびに配置が変わっていたり、企画展をしたり新鮮な気持ちで見ることができます。

- ◎ 8月11日 大阪府豊中市（女性）
興味深い展示物が多くありました。
- ◎ 8月12日 奈良県生駒市（女性）
インターネットで知りました。期待はずれにおもしろかった。
- ◎ 8月13日 広島県廿日市市（女性）
ゲルがとてもかわいい。ベッドや食器、ミニタンスとかさりげなくおかれ、アーティストセンスが私には最高で、ここにこのまま居つきたくなるような感じでした。うちには今、モンゴルの留学生がホームステイしております。
- ◎ 8月15日 兵庫県氷上郡（男性）
遠方から来た甲斐がありました。モンゴルの歴史のことなど細かく、大きな字とふり仮名で読みやすかったです。
- ◎ 8月15日 兵庫県西宮市（女性）
家族で来ました。はじめは、あまり興味のなさそうだった子どもたちがゲルの様子を見て、こんなところでどんな風に暮らしていたのかな？を中を見て回っていました。つれてきてよかったですと思いました。
- ◎ 8月16日 大阪府豊中市（男性）
なまえを忘れたが、あの動物とてもかわいかった。日本の昔の家や道具、モンゴルの歴史がいろいろわかり勉強になりました。
- ◎ 8月16日（女性）
今日始めてモンゴルのことを少し知ることができました。日本に住んでいる私たちは、モンゴルは想像もつかない世界だと思いました。自分の部屋もなく、風呂もトイレもない。私からみればすごいことだと思います。でも、助け合って、仲がいいとてもいい人たち、この人たちみたいについて優しい心の持てる人間になりたいなあと思うことができました。
- ◎ 8月18日 兵庫県但東町（男性）
モンゴルの生活がよくわかり勉強になりました。これからいろいろな展示をしてください。
- ◎ 8月20日 福井県勝山市（男性・女性）
羊を2頭飼っており、フェルトを作ったり織物、染物をしています。モンゴルの羊、モンゴルの生活を知りたい、ゲルを作りたいと思い相談にのってもらいに来ました。
- ◎ 8月22日 兵庫県豊岡市（女性）
子どもが学校でスーホの白い馬を習ったときに少し興味を持ちました。実際に今日見て、わあ～すごいなあ～と感動しました。ゲルもとってもよかったです。下の子が来年スーホの白い馬を習うとき来てみたいです。
- ◎ 8月24日 兵庫県豊岡市（女性）
むかしのひとの生活がよくわかりました。がっつきもよくくふうされていておもしろかったです。
- ◎ 8月24日 兵庫県豊岡市（女性）
昔のひとの生活が身近に感じられました。いろいろな工夫がされていてとても興味を持ちました。
- ◎ 8月24日 兵庫県川西市（女性）
スーホの白い馬、以前影絵で見たことがあり興味があった。また、司馬遼太郎先生の書き物の中にもよくでてくるゲルが一度見たかった。
- ◎ 8月25日 神戸市（女性）
子どもが民族衣装で写真を撮り、とても喜んでくれました。楽しい時間が過ごせ勉強になりました。
- ◎ 8月25日 兵庫県但東町（女性）
昔の日本文化が展示してあって、昔の生活ぶりがよくわかりました。
- ◎ 8月30日（女性）
暇つぶしに来たのですが、民族衣装が着れたりその時代のいろいろな物、ゲルも雰囲気があってとても気に入りました。こんな所があるなんて知らなかったです。平日で静かに見れました。
- ◎ 9月6日 大阪府枚方市（女性）
モンゴルが大好きなので本当に楽しかった。また、民族衣装の試着も無料でさせてくれるのがうれしい。大阪の人たちに教えてあげたい。
- ◎ 9月23日 京都市（女性）
モンゴルと中国の関係、歴史的背景がよく分かりました。
- ◎ 10月3日 兵庫県篠山市（女性）
ゲルに入ってとてもよい思い出になりました。すばらしい仏画にふれることができて心が洗われました。
- ◎ 10月4日 兵庫県姫路市（女性）
昨年息子夫婦と孫の5人でモンゴルに行ったので興味があった。
- ◎ 10月5日 兵庫県（女性）
モンゴルの生活を味わうことができました。但馬にいながら初めての来館です。貴重な資料におどろき、民族衣装を着けて写真も撮らせてもらい、楽しいひとときをありがとうございました。
- ◎ 10月13日 大阪府摂津市（男性）
ダムディンスレンさんが絵を描いていて、説明を聞きよく理解できました。記念に絵を購入しました。
- ◎ 10月13日 兵庫県明石市（女性）
モンゴルの絵がとてもきれいで素敵でした。
- ◎ 10月14日 京都府福知山市（男性）
途中休憩できる椅子があり、子どもやお年寄りなどによかったと思います。

- ◎ 10月27日 大阪市旭区 (女性)
モンゴルの民族衣装が着れ、楽しかったです。山里の静けさに心休まる一日でした。設備も展示品もよく、内容が充実していました。お土産もかわいらしくお手ごろ値段でした。
- ◎ 10月27日 京都府福知山市 (女性)
来るたびに拡張し、変化があっていつも驚きと楽しさいっぱいで帰ります。
- ◎ 11月5日 京都府伊根町 (男性)
絵を購入しました。よい記念品ができて嬉しかったです。このような施設はさまざまありますが、ここは見所がたくさんあって素晴らしいです。
- ◎ 11月7日 京都府宮津市 (男性)
インターネットの博物館を読むとこのことがホームページで読める。創立者の心が感じられます。
- ◎ 11月14日 神戸市須磨区 (男性)
テレビなどで見ただけでしたので、実物をこの目で見て大変よかったです。またゆっくりと見に来たいと思います。
- ◎ 11月16日 大阪市港区 (女性)
以前大阪で開催されたモンゴル展で写真を撮ったのですが、ぶれてしまって後悔していました。今日は写真撮影もでき楽しい時間をすごせました。
- ◎ 11月17日 兵庫県高砂市 (女性)
但東町ではシルク温泉と、モンゴル博物館、農村歌舞伎舞台の3ヶ所しか思い浮かびませんでした。遠くから3時間あまりかけて来る値打ちは充分ありました。
- ◎ 12月1日 兵庫県伊丹市 (男性)
ひとつの文化がうまく紹介されていて感心しました。施設も立派で見ごたえがありました。また、併せて郷土文化の紹介、国際理解教育での利用にも配慮されているところがよいと思います。機会があれば学生を連れてまた来ます。
- ◎ 12月1日 兵庫県尼崎市 (女性)
プレリードックに会えなくて残念でしたが、衣装も着れ、とても楽しく貴重な体験になりました。
- ◎ 12月1日 京都府福知山市 (男性)
はじめてモンゴルの生活や文化を示す実物に接し、さまざまな点で興味を覚えました。近い感じで、親しみのもてる展示方法もよかったです。
- ◎ 12月1日 京都府福知山市 (男性)
展示の充実ぶりに敬意を表します。今後の運営に更なる期待をいたしております。大勢の人たちが来館されますよう祈念申し上げます。
- ◎ 12月1日 兵庫県豊岡市 (女性)
孫を連れてきました。とても喜んで興味深く見ていました。後で図書館の本を沢山読み、時の過ぎるのを忘れてしまいました。子どもにとって本はよいものです。
- ◎ 12月22日 兵庫県香住町 (女性)
長女が2年生のとき「スーホの白い馬」を習い、馬頭琴を見るために来ました。それから4年、今度は次女が2年生で同じように馬頭琴が見たいといってきました。スーホの生活や住居がわかってとても楽しかったです。
- ◎ 12月27日 群馬県 (男性)
僕はモンゴル人になったようです。草原や砂漠、羊を追いかけてながらきれいな水辺で暮らしている。雨乞いしたり、相撲して遊びお腹がすいたらチーズを食べ、知らない国の人のことを考えることもなく、いい感じに時間がゆっくり流れていつか死ぬ。死んだら鳥に運ばれてまたここに戻ってくるのだろう。
- ◎ 1月7日 京都府福知山市 (女性)
モンゴル語を勉強している大学1年生です。ゲルやデールに実際に触れられる機会はそうないので、大変嬉しく楽しめました。東京の大学に帰って友達に話します。
- ◎ 1月7日 京都府岩滝町
我が家の3人はスーホの白い馬を勉強する頃にいつもここへやってきて、馬頭琴を見せてもらいます。本物はやっぱりすごいですね。印象深いので、スーホの白い馬も思い出深い国語の時間になるようです。
- ◎ 1月12日 兵庫県豊岡市 (女性)
はじめてきました。きてどんな所かよく分かりました。家の中にいろいろな家具があったので、とても楽しかったです。
- ◎ 1月12日 兵庫県姫路市 (女性)
モンゴル民族の衣食住について学ぶことができました。モンゴル衣装も着ることができ記念になります。
- ◎ 1月17日 京都府加悦町 (女性)
大変きれいな建物で広々していて快適でした(トイレも美しい)。何かモンゴルのことを体験できるものがあればよいと思います。馬乳を飲むとか、チーズを食べるとか……手っ取り早く食べ物しか思いつきませんが、朝青龍も頑張っているし、もっと身近に感じると思っています。
- ◎ 1月17日 奈良県山添村 (男性)
娘の友人が海外青年協力隊でモンゴルに2年行っていたのでその話を聞いており、とてもよかった。
- ◎ 2月9日 京都府網野町 (男性)
初めて来館しました。予想以上に素晴らしいものでした。いま、日本で頑張っているモンゴルの人たちのためにも是非これからもよいものを展示してください。

- ◎ 2月9日 大阪府枚方市（女性）
おばあちゃんに車いすをかしてもらえてうれしかった。服もいっぱいきてよかった。
- ◎ 2月10日（男性）
今日は久々に休みがとれました。妻と2人で小旅行にやってきましたが、学生のころ歴史で学んだモンゴルの日本への侵攻は遠い昔ですが、生活用品などを見ると不思議な気持ちになりました。
- ◎ 2月11日 兵庫県八鹿町（男性）
学校で習った馬頭琴を見にきました。ほんとうにあってびっくりしました。
- ◎ 2月11日（女性）
調べ学習の宿題に“モンゴルについて”というのが出ました。“そうだ！”と思い立ち家族でやってきました。身近に見る外国の文化、歴史に「すごい」「かわいい」「これ何」を連発です。豊富な実物は小学生に親しみやすくとてもよいと思いました。
- ◎ 2月15日 京都府久美浜町（女性）
去年きたときよりも新しいものが増えており、馬頭琴の音も聞けるようになってよかった。またきてコナンの本を読みたいです。
- ◎ 2月15日 兵庫県猪名川町（男性）
ウランバートルのニュースはテレビやラジオしか知ることができない。ここに来ればもっと身近なニュースや人々の暮らしぶりを知ることができたらいいと思う。人口が1995年のデータでは古すぎる。マンホールチルドレンの今の様子など近況を知らせる方法はないか。
- ◎ 2月15日
友達がウランバートルに行っており、できたら今年の夏に行く予定で勉強に来ました。沢山の品々に圧倒され、すばらしいモンゴル文化に感動してしまいました。ビデオもモンゴルの遊牧民の深いところごと、やさしさに日本人が失ってきたものが多くあることを思い知り、また私自身も今生活を振り返るよい機会に恵まれ、すばらしい博物館でした。
- ◎ 2月16日 京都府野田川町（女性）
2年生で今学習している真最中で娘も大変よかったといっています。モンゴルの文化と日本の昔の文化のどちらも触れることができ大変よかった。
- ◎ 2月23日 兵庫県西宮市（男性）
モンゴルに興味を抱かず素晴らしい博物館です。実際にモンゴルに行きたくなりました。但東町とモンゴルの国がこのような交流をしているのを知りませんでした。頑張ってください。
- ◎ 2月23日 兵庫県和田山町（女性）
小2の娘が国語でスーホの白い馬を習い、馬頭琴を見たいというので連れてきました。同じお話が見れて喜んでいました。難しい歴史は分からないようでしたが、モンゴルの暮らしがよく分かったようです。
- ◎ 3月1日 神戸市西区（女性）
みかた台小学校にきていただいてありがとうございました。はじめてモンゴルのふくやばとうきんを見せてもらえてありがとうございました。きょうは、いしやうをきたりゲルのなかを見せてもらい楽しかったです。
- ◎ 3月2日 兵庫県豊岡市（男性）
豊岡市奈佐小学校から来ました。28日にはいろいろモンゴルのことを子どもが教えていただいてモンゴル、特に馬頭琴とゲルに興味を持ち是非ここに来たいということで来させていただきました。
- ◎ 3月9日 兵庫県西宮市（女性）
思った以上に楽しんでます。忘れかけていた世界史の再確認もできました。家具の色もステキだし住んでみたい家です。
- ◎ 3月11日 奈良県橿原市（男性）
さらにモンゴルやチベット関係の資料を収集してください。
- ◎ 3月16日 兵庫県西宮市（男性）
スーホの白い馬を学校でべんきょうしてここにきました。かんちょうさんが学校にきてくださって、いろいろなおはなしをしていただきとってもきょうみもちました。ほんものの馬頭琴をみてかんどうしました。
- ◎ 3月16日 大阪府堺市（女性・女性）
衣装が着れて良かったが、背景や分かりやすい所に衣装や着方の説明があればもっと良かった。
大変きれいな博物館で、展示品も多くよかったと思います。
- ◎ 3月23日
モンゴルの人々の生活の知恵に感動。このゲルが移動時小さく梱包されるのが不思議です。いいなあ、広い大地いつかこの目で確かめたい。
- ◎ 3月27日（女性）
私は2年生でスーホの白い馬を勉強しましたが意味が分からなかったです。4年生になってからもう一度ここにきて勉強しました。とてもモンゴルのことがよく分かりました。
- ◎ 3月27日 兵庫県宝塚市（女性）
なんとなく入ってみたのですが、ゲルの中に入れたり衣装を着ることができたり、体験することができ楽しかったです。

- ◎ 3月29日 兵庫県姫路市（女性）
モンゴル博物館の出前授業を山田小学校の2年生教室で受けました。大岸先生のお話はとてもおもしろく、お姫様のドレスも着れとてもうれしかったので今日博物館を訪ねました。
- ◎ 3月29日 兵庫県西宮市（女性）
かんちょうさん、夙川小学校にわざわざ来てくれてありがとうございました。
- ◎ 3月30日 京都府亀岡市（女性）
何度か来たことがあります。モンゴルの服を着て、その構造にびっくりしました。とても便利だと思います。ゲルも解体したり、作りなおせるのがすごいと思います。

8. 施設概要

(1) 本館建築概要

位置	兵庫県出石郡但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦棒葺 立体トラス鉄骨（KTトラス）
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、国際理解学習室 56.5㎡、荷解室 33.3㎡、事務室 33.3㎡、館長・応接室 28.0㎡、準備室 48.2㎡ 展示室「東アジアの歴史」 75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8㎡ 展示室「チベット仏教」 37.7㎡、企画展示室 74.4㎡ シルクロード（回廊）1 13.3㎡、シルクロード（回廊）2 13.3㎡ シルクロード（回廊）3 12.6㎡、シルクロード（回廊）4 12.6㎡

建物規模	平屋建て 東西41.8m 南北42.5m 地上高 9.0 m
仕上げ	〈外装〉 復層吹付 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカーペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼り

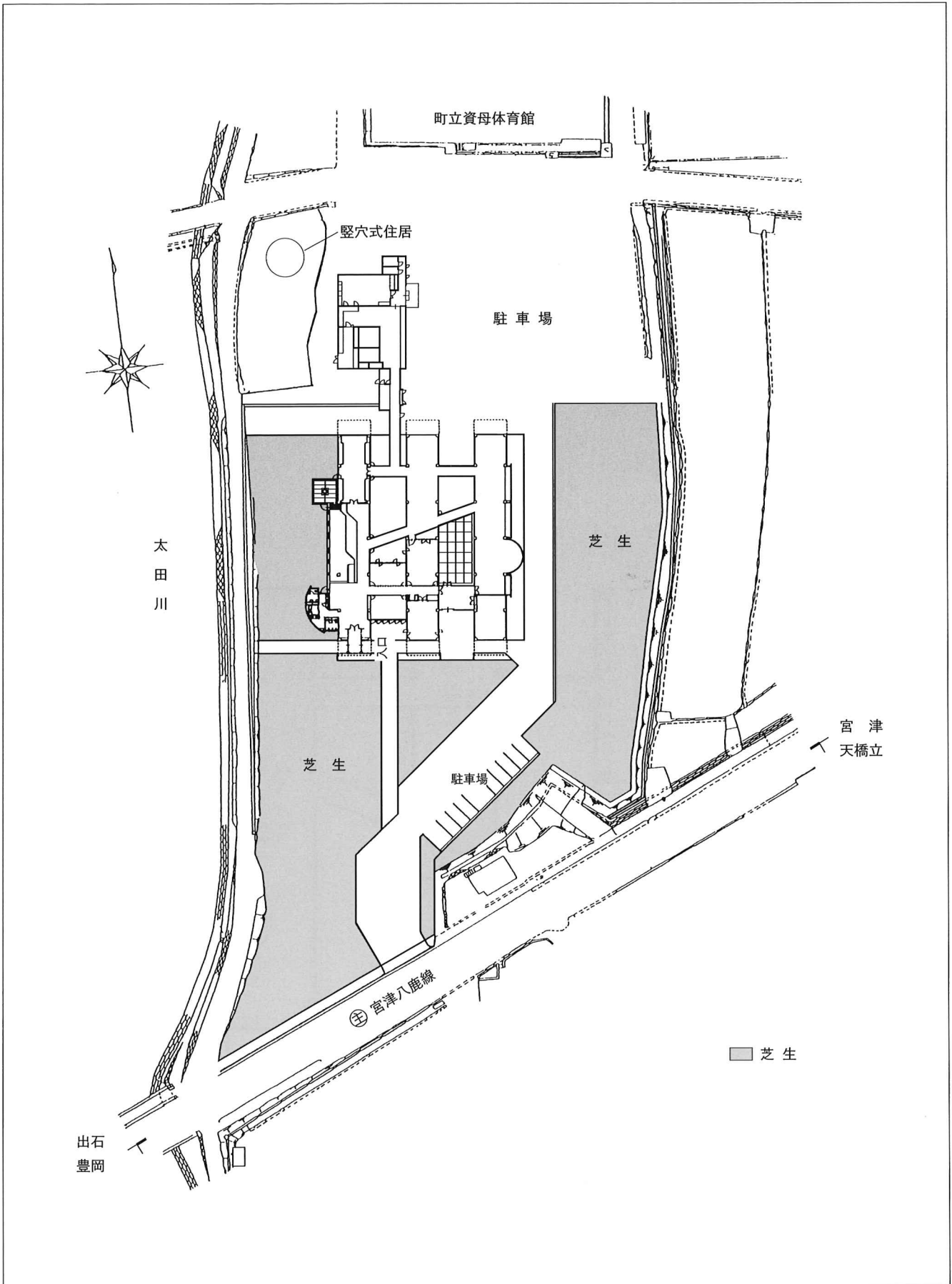
(2) 伝承文化体験交流館建築概要

位置	兵庫県出石郡但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
建築面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6㎡、展示室「但東の暮らしと文化」 112.5㎡、シルクロード（回廊）5 36.4㎡、収蔵庫 27.2㎡
建物規模	平屋建て 東西 12.80 m 南北 21.17 m 地上高 7.05m
仕上げ	〈外装〉 押出成形セメント板 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカーペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉板張 天井 : 化粧PB張一部杉板張

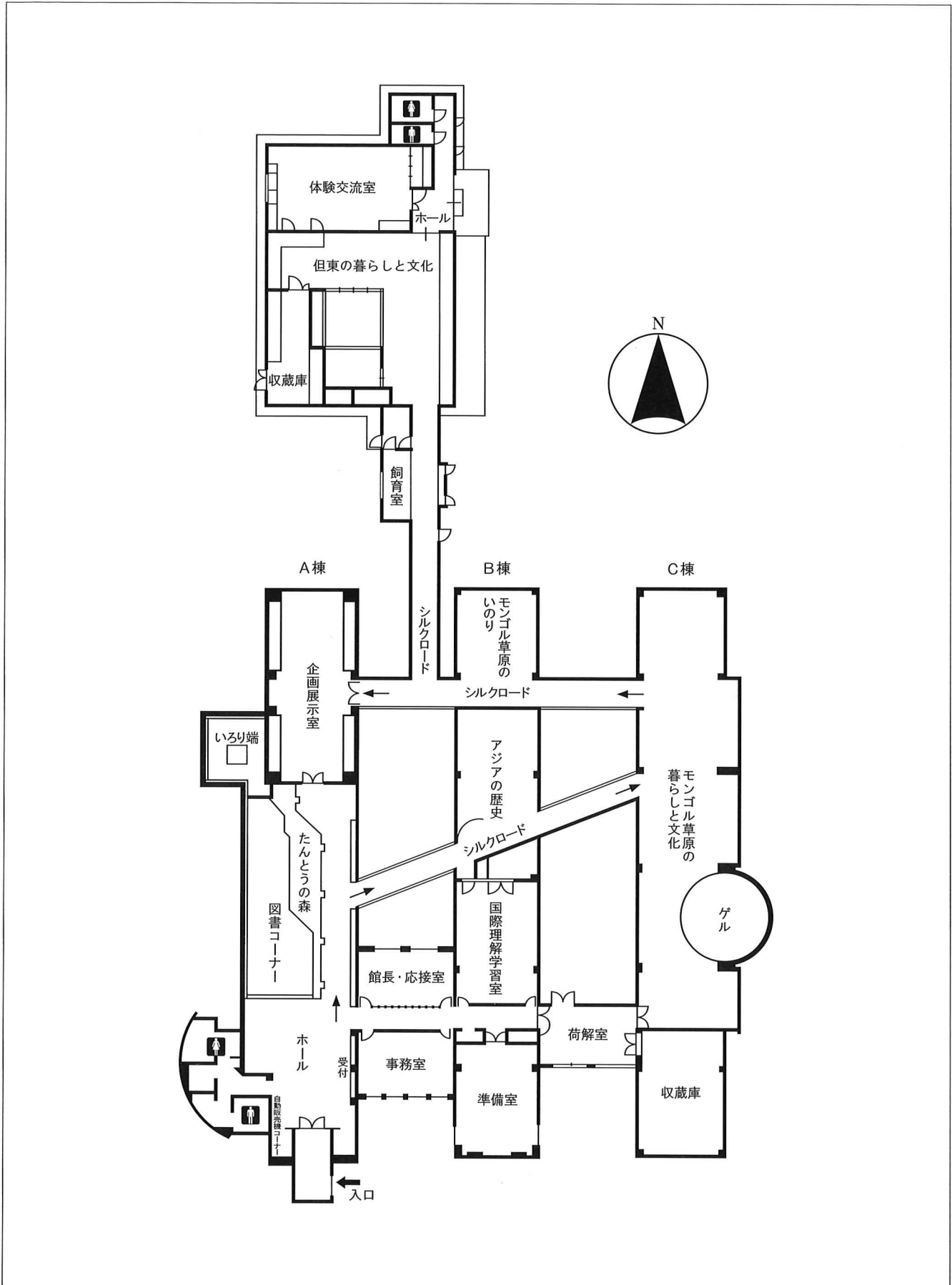


（伝承文化体験交流館）

(3) 配置図



(4) 平面図



9. 利用案内(平成14年度)

開館時間 9時30分から17時まで(入館は16時30分まで)

休館日 水曜日(5月3日は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)
展示替え及び燻蒸による臨時休館

観覧料 一般 500円(450円)
高校・大学生 300円(250円)
小学・中学生 200円(150円)

※カッコ内は20名以上の団体の場合

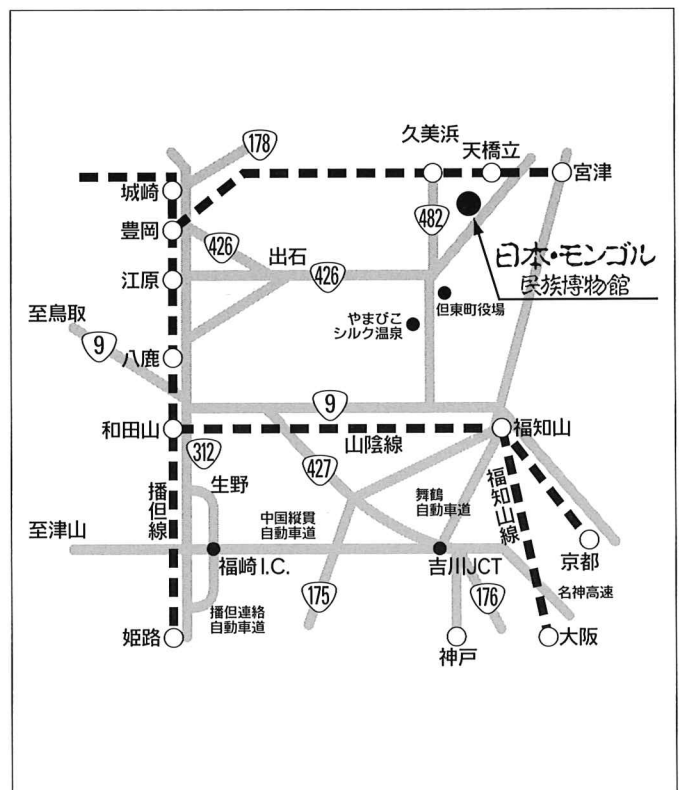
観覧料の減額

- 但馬ファンクラブ(一律100円の減額)
- JAF協定(一律50円の減額)
- 65歳以上のかたは観覧料の半額
- 身体障害者(介助者を含む)のかたは観覧料の半額
- 兵庫県内の小学・中学生はココロンカードの提示により無料
- 兵庫県内の小学・中学生を引率する教員は無料
- 但東町民はすべて無料

10. 交通案内



但東町位置図



アクセス・マップ

あ と が き

■ 8月に鶴田樹木医、宮田樹木医といっしょに地元の井上副区長に案内をしていただき、河野辺地区に自生している大桜を調査に行きました。“樽見の大桜”を見たことのない私にとって今までみた中で一番大きな桜でした。夏真っ盛りだったため、花は咲いていませんでしたので、今年は見に行きたいと思います。

10月19日から25日の7日間、モンゴル国から15名の方が来日されました。15名のうち10名が初来日の子どもでした。子どもたちの目には多分日本の、但東町のすべてが新鮮に映っていたのだろうなあ。帰りの関西国際空港でみんなが名残惜しそうにゲートをくぐって行くのが印象的でした。これもひとえにホームステイを受けていただいた方、各イベント参加を快く引き受けていただいた方々のおかげです。本当にありがとうございます。

(大岸勝也)

■ 40歳半ばより1日がなんとなく短いように感じてはいたが、60歳になって更に時計の針が早く回るように思えてならない。今になってどうすることもできないが、あくせくすればするほど時間が足りなくなり、私はこれほどにも日が長い時に怠けていたのかと思うと実に情けない限りである。

何時だったか90歳をまわったお年寄りがこんなことをつぶやいた。「わしも、ええ年になった。なに不自由なく、することもなく1日中テレビ見とつても日が長うて……」この人は若い頃随分の元気者で、村や仕事場でそこそこ仕切っていたようだが、その頃の連れも少なくなり話し相手もなく、一人暮らしで今を迎えている。

私は今までこの人とは逆の生き方をしてきたのかもしれない。90歳といえまだ30年もある。元気でさえあれば、もしかすると取り戻せるかもしれない。金がなくても、「自給自足の暮らしも悪くない」といっても世の流れに逆らう度胸もない。畑を耕し野菜や果樹を植え、時には山や海の恵みを求め、することを考えたり身につけたり、いわゆる自分流生涯学習のメニューを作るのもいいかもしれない。博物館は、こんなことを考えさせてくれる大きな宝箱であり、することがあ

るということは実にありがたいものだと思える。

(高木義彦)

■ 1月・2月・3月 出前授業のラッシュが起こる。私が出前に行くようになって、はや4年が過ぎようとしている。国語の教材「スーホの白い馬」に関連しての授業が多い。

大きなケースにモンゴルの民族資料を詰め込みあちこちへと出前する。蕎麦の出前と違って、美味しいものを早く届けるだけでは喜ばれない。モンゴルの出前は結構大変。でも、とっても楽しい。民族衣装を身にまとい、馬頭琴を引く……彼らは、しばしモンゴルの子どもに、いやいやスーホになっているのかもしれないと思えてくる。いつもの教室が、いまだ踏んだことのない大草原となっていく。元気な子・おとなしい子・大きな子・小さな子・疑問がいっぱい湧いてくる子。がちこんでぶつかってくる子どもたちとともに過ごす時間は、瞬く間に過ぎてしまう。いつもいつも反省の繰り返しだが、また、違った子どもたちと会えることを楽しみに、次の出前を届けに行く。きちんと届いたかなと少々心配になりながら。

(渡辺律子)

■ 博物館にお世話になり、あっという間に2年が過ぎました。館長や職員の皆さんにご迷惑をかけながら…

14年度は、私にとって新たな挑戦(少し大袈裟?)がありました。それは、来館してくれた子どもたちへの説明や、小学校へ出前授業に行かせていただいたことです。

自分なりに勉強していざ説明へ。ところが突然頭の中が真っ白になって説明不足になったり、子どもたちに「なぜ？」と聞かれ即答できなかつたりと、失礼の連発でした。

出前授業も一人で行くのは初めての体験でした。方向音痴の私にとって地図を頼りに学校までの道のりが予想以上に長いこと。やっと到着し、子どもたちの前ではじめての出前授業。モンゴルのいろいろな話を

してから、馬頭琴に触れてもらったり、民族衣装を着てもらったり……と、あっという間の2時間が過ぎました。子どもたちのきらきらした目・一生懸命聞こうとする態度。大変新鮮な気持ちでした。

後日、訪問した小学校の子どもさんが「お～い、柴田さん」と家族で来館してくれました。照れくさいけど、すごうれしかったです。

これからも、こんなうれしい種をいっぱいためていけたらと思っています。

(柴田明子)



(博物館スタッフ)

大	金	福	顧	柴	渡	高
岸	津	田	問	田	辺	木
勝	匡	芳		明	律	義
也	伸	郎		子	子	彦

日本・モンゴル民族博物館年報第6号

Japan Mongolia Folk Museum

〒668-0345 出石郡但東町中山 711

TEL (0796)56-1000

FAX (0796)56-1022

E-mail: info@monpaku.com

711Nakayama, Tanto-Town, Hyogo 668-0345 JAPAN

発行／日本・モンゴル民族博物館

平成 15 年 7 月 30 日発行

印刷／嶋屋印刷

〒668-0233 出石郡出石町田結庄 86

TEL (0796)52-3408 FAX (0796)52-6000